

てく Take ちゅう Walking 35

『お仕事拝見！』

今回は、地下鉄西18丁目駅1番出口から徒歩3分、就労継続支援B型コンフォートスペースにお邪魔してきました。

コンフォートスペースは、平成29年10月に開設した、若さあふれる事業所です。

メインの利用者は精神障がいの方になっていきますが、全ての障がいに対応できる体制が整えられています。

定員は20名となっております、利用者の方々が、それぞれの体調やペースと相談しながら、無理のない範囲で通所しているそうです。

作業の内容は、データ入力をメインに、エクセルアート、資格取得に向けた訓練、その他の自主作業など、利用者のレベルに応じたものとなっております。

ここからは、各作業の具体的な内容も含め、1日の活動について、項目ごとに見ていきます。

1 午前の作業

出勤してきたら、まずは朝礼を行います。その後、各利用者の体調を見ながら前回までの作業習得を確認した後に作業へ移ります。

2 作業の内容

(1) データ入力
ワードやエクセルに慣れるために、用意されたフォームにデータを入力する訓練を行っています。

利用者の中には、パソコンに触れるのが全く初めての方、ウィンドウズ95でパソコンを経験して以来操作する機会がなかった方もいらっしゃったそうですが、そういった方が習得するスピードが速いこともあったりするようにです。

(2) エクセルアート
エクセルアートとは、エクセルの罫線や塗り潰し機能を駆使して、うちわやブックカバーなどの模様を作る技術で「パソコンの手芸」とも呼ばれています。

エクセルは、表計算ソフトということで取っ付きにくい印象がありますが、さすが「こういった形であれば気軽に経験できる」との声が寄せられているそうです。

(3) 資格取得に向けた訓練

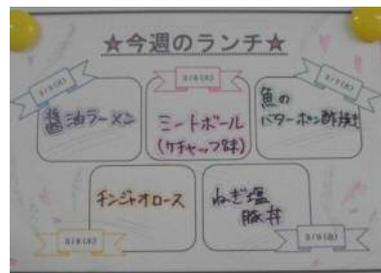
データ入力やエクセルアートのほかに、将来的にMOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)の資格を取得するための訓練を行っているそうです。資格試験に挑戦する際の補助についても検討しているとのこと。オリジナルの問題集は、問題の量が多いことが印象的でした。



言われなければ、エクセルで作ったとは思えません

3 昼食・午後からの作業

取材当日のメニューは「魚(サバ)のバターポン酢焼き」でした



希望者には、1食250円で食事が提供されます。調理師免許を持っている方もあり、味はもちろんのこと、栄養バランスとバリエーションについても配慮されたものとなっております。

昼食後は、午前中と同様の作業を行います。

4 レクリエーション

月1回、利用者とスタッフの交流を目的としてレクリエーションを行っています。2月は食事でしたが、春になったら近隣の公園で行うことも考えているそうです。

最後に、事業所のPRポイントについてお話を伺いました。

「事業所名のとおり、快適な空間作りを目指して頑張っています。まだできたばかりの事業所ですが、利用者もスタッフも20代から50代まで幅広く、びっくばらんな話ができるのでPRポイントです。駅からのアクセスも良好ですので、是非見学に来てみてください。」

〈問い合わせ先〉0660・0821

札幌市中央区北1条西20丁目1・31

フロンティア北1条

就労継続支援B型 コンフォートスペース

電話 011・676・50059

FAX 011・676・50069